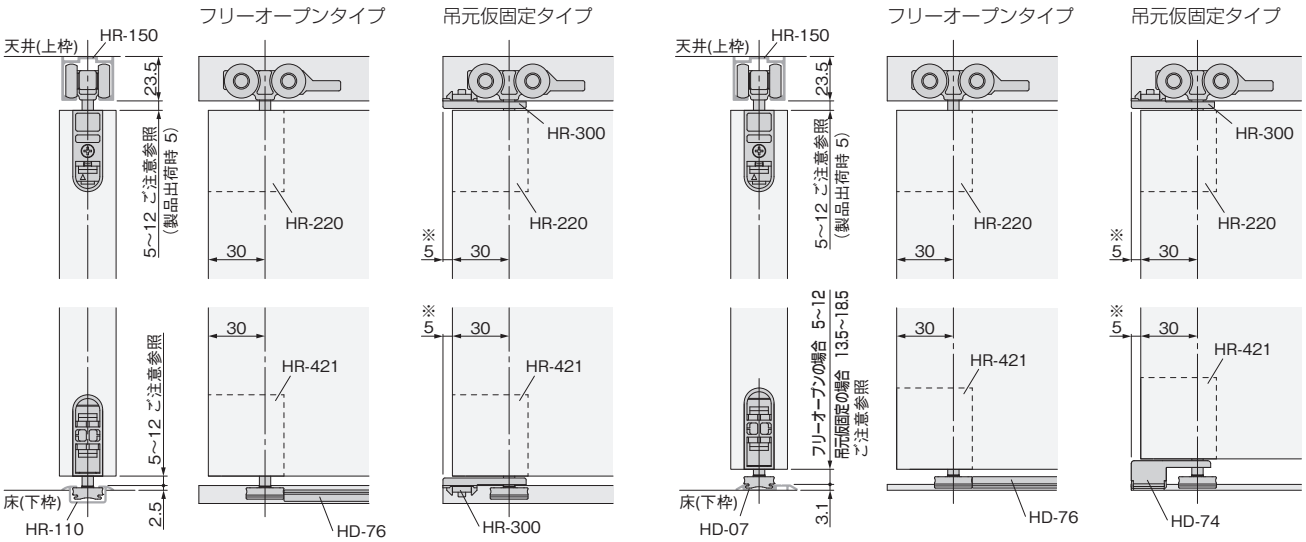
使用条件

◇折戸1組の総質量:30kg以下　◇戸の厚さ:30mm以上　◇折戸1組の戸幅:600～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

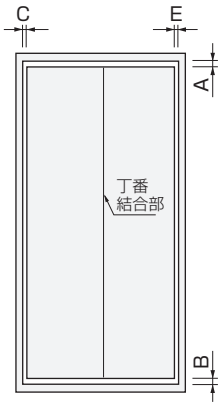
■金具の納まり参考図

下部レールにHR-110を使用の場合　　下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上のすきま
A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5～12

●下のすきま
B=下部レールと戸の間のすきま寸法
HR-110の場合=5～12
HD-07でフリーオープンの場合=5～12
HD-07で吊元仮固定の場合=13.5～18.5

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=10mm、HD-07で吊元仮固定の場合=18.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=24mm、HD-07で吊元仮固定の場合=30.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
(ただし、HR-110を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合:
10mm<上下のすきま<24mm
HD-07で吊元仮固定の場合:18.5mm<上下のすきま<30.5mm)
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

●左右のすきま(折戸1組の場合)

C+E (フリーオープンで吊元仮固定キャッチを使用しない場合)
使用丁番 : HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	4.8	4.3	3.9	3.6
33	5.5	4.9	4.4	4.0
35	6.0	5.3	4.8	4.4
40	7.4	6.5	5.8	5.3

C+E(吊元固定の場合)
使用丁番 : HD-37

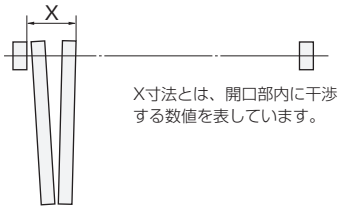
戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	7.5	7.1	6.8	6.6
33	7.9	7.5	7.1	6.9
35	8.2	7.7	7.4	7.1
40	10.1	9.5	9.1	8.8

CまたはEが吊元固定の場合の吊元側すきま寸法

戸　厚	C(またはE)
30	5.0
33	5.0
35	5.0
40	6.1

※上記の左右すきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。
※丁番結合部のすきまは0mmの設定です。

■戸を開けた時のX寸法



X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合

$X=\frac{戸厚}{2}+108mm$

●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合

戸厚30～36mmの場合　$X=\frac{戸厚}{2}+150mm$

戸厚37～40mmの場合　X=戸厚+132mm

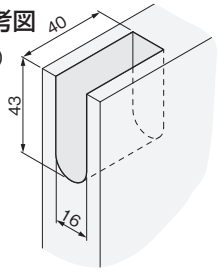
●吊元仮固定タイプの場合

$X=\frac{戸厚}{2}+116mm+吊元すきま寸法$

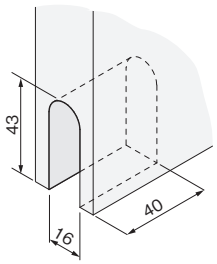
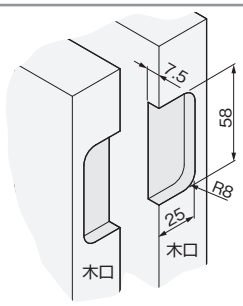
※上記計算式は「使用丁番HD-37」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(HR-220)の取付け加工寸法



下部ガイド(HR-421)の取付け加工寸法



間仕切用丁番(HD-37)の取付け加工寸法